

◇ 特別会計収支決算の状況

(1) 下水道事業特別会計

平成30年度の下水道事業特別会計の決算状況は下表のとおりです。歳入が前年度比で減少したのは、地方公営企業法適用に伴い、下水道使用料収入が一カ月分未収金となったことが主な要因です。歳出が対前年度比で増加したのは、下水道管路施設長寿命化計画に基づき管路改築更新工事を開始したため工事費が増となったことが主な要因です。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	1,816,495	1,844,857	△28,362	△ 1.5
歳 出	1,805,277	1,758,046	47,231	2.7
歳入歳出差引額	11,218	86,811	△75,593	△ 87.1
翌年度へ繰越すべき財源	0	86,811		
実 質 収 支	11,218	0		

※ 下水道事業は平成31年4月1日に地方公営企業法を適用したため、平成31年3月31日をもって出納閉鎖する「打ち切り決算」を行いました。そして、歳入総額と歳出総額の差引額11,218千円を下水道業会計へ引き継ぎました。

(2) 国民健康保険特別会計

平成30年度の国民健康保険特別会計の決算状況は下表のとおりです。歳入が前年度比で減少したのは、制度改革によりこれまで市で歳入していた療養給付費交付金、前期高齢者交付金及び共同事業交付金が皆減となったことが主な要因です。歳出が対前年度比で減少したのは、後期高齢者支援金、介護納付金及び共同事業拠出金が皆減となったことが主な要因です。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	6,200,643	7,165,073	△964,430	△ 13.5
歳 出	5,820,545	6,737,919	△917,374	△ 13.6
歳入歳出差引額	380,098	427,154	△47,056	△ 11.0
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	380,098	427,154		
地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	169,760	-		

(3) 駐車場事業特別会計

平成30年度の駐車場事業特別会計の決算状況は下表のとおりです。歳入が前年度比で増加したのは、駐車場の利用収入と前年度繰越金の増が主な要因です。歳出が前年度比で減少したのは、人件費の減や一般会計への繰出金の減少が主な要因です。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	66,127	64,596	1,531	2.4
歳 出	58,368	61,136	△2,768	△ 4.5
歳入歳出差引額	7,759	3,460	4,299	124.2
翌年度へ繰越すべき財源	2,944	0		
実 質 収 支	4,815	3,460		

(4) 介護保険特別会計（保険事業勘定）

平成30年度の介護保険特別会計（保険事業勘定）の決算状況は下表のとおりです。歳入が前年度比で増加したのは、保険料及び繰越金の増が主な要因です。歳出が前年度比で増額したのは、国庫支出金等過年度分償還金の増による諸支出金の増及び保険給付費の増が主な要因です。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	6,092,613	5,977,709	114,904	1.9
歳 出	5,802,601	5,644,349	158,252	2.8
歳入歳出差引額	290,012	333,360	△43,348	△13.0
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	290,012	333,360		
地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	48,433	77,797		

(5) 介護保険特別会計（サービス事業勘定）

平成30年度の介護保険特別会計（サービス事業勘定）の決算状況は下表のとおりです。歳入の主なものは、介護予防サービス計画費収入です。歳出の主なものは、居宅介護支援事業所に支払うサービス計画作成委託料7,461千円、地域包括支援センターの嘱託職員報酬3,886千円です。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	16,877	16,449	428	2.6
歳 出	14,319	14,542	△223	△1.5
歳入歳出差引額	2,558	1,907	651	34.1
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	2,558	1,907		

(6) 農業集落排水事業特別会計

平成30年度の農業集落排水事業特別会計の決算状況は下表のとおりです。歳入が前年比で増加したのは施設整備工事費の増により一般会計繰入金が増加したことが主な要因です。歳出が前年度比で増加したのは施設整備工事費の増が主な要因です。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	38,704	33,647	5,057	15.0
歳 出	34,415	33,647	768	2.3
歳入歳出差引額	4,289	0	4,289	皆増
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	4,289	0		

※ 農業集落排水事業は平成31年4月1日に地方公営企業法を適用したため、平成31年3月31日をもって出納を閉鎖する「打ち切り決算」を行いました。そして、歳入総額と歳出総額の差引額4,289千円を下水道事業会計へ引き継ぎました。

(7) 土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計

平成30年度の土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計の決算状況は下表のとおりです。平成18年度から介護認定審査事務等を効率的に行なうために、介護認定審査会特別会計を瑞浪市と共同で設置しています。歳入は瑞浪市と土岐市からの負担金等で、179回の審査会を開催し、4,339件の審査判定を行いました。介護保険システム関連機器更新を行ったため歳出が前年度比30.0%の増となりました。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	45,814	35,241	10,573	30.0
歳 出	45,814	35,241	10,573	30.0
歳入歳出差引額	0	0	0	-
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	0	0		

(8) 土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会特別会計

平成30年度の土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会特別会計の決算状況は下表のとおりです。平成18年度から障害者総合支援認定審査事務等を効率的に行なうために、障害者総合支援認定審査会特別会計を瑞浪市と共同で設置しています。歳入は瑞浪市と土岐市からの負担金等及び国県補助金で、17回の審査会を開催し、187件（意見付与を含む）の審査判定を行いました。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	4,556	4,453	103	2.3
歳 出	4,556	4,453	103	2.3
歳入歳出差引額	0	0	0	-
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	0	0		

(9) 後期高齢者医療特別会計

平成30年度の後期高齢者医療特別会計の決算状況は下表のとおりです。歳入が前年度比で減少したのは後期高齢者医療保険料の減が主な要因です。歳出が前年度比で減少したのは後期高齢者医療広域連合納付金、償還金及び還付加算金の減が主な要因です。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	748,762	762,464	△13,702	△ 1.8
歳 出	731,847	741,558	△9,711	△ 1.3
歳入歳出差引額	16,915	20,906	△3,991	△ 19.1
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	16,915	20,906		